



竹田 英司

選手の見識を広める読書を勧めるため、ささやかな文庫を事務局に設けた。バレーの専門書のみならず、人生論や他競技の一流選手の著書などに親しむことで自己啓発に努め、それがVリーグ優勝につながることを願っている。

平馬慶太コーチの要望で、猫田勝敏氏のある著書を購入しようとした。絶版のため古書店で探索したものの予想外の高額。チームの財布を預かる身としてはおいそれと出



猫田イズム 著書に学ぶ

せる金額ではなかった。そこで一計を案じ、インターネットで探し当てた。

所有されている方に連絡を取ると、「JTの選手に活用していただけるなら喜んで寄贈します」とうれしい一言。関東地方の公立高校で男子バレー部の顧問をされているそうで、「(1972年の)ミyunヘン五輪をきっかけにバレーを始めましたが、選手としても指導者としても全国大会に出場する夢は実現していません。それでもバレーを愛する気持ちは変わりません」。チームを代表して厚く御礼申し上げた。

本が到着した時、たまたま事務局にいた金子聖輝選手に手渡すと、同じセッターとして何かしら思うことがあったのだろう、食い入るように読み始めた。多くの方々に有形無形の応援をいただき、JTサンダーズ広島は心身ともに強化中だ。

(JT広島マネジャー)

猫田氏の著書を熱心に読みふける金子選手